

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800178
法人名	社会福祉法人 鶴寿会
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県出水市汐見町89番地 (電話) 0996-67-3187
自己評価作成日	平成28年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

恵まれた自然環境の中で、一年を通し季節を感じていただけるように季節の行事を取り入れています。隣接する特養からの応援をもらい、桜見物・バラ見物・鶴見物等ドライブを兼ねて外に出る機会を多く持つように取り組んでいます。また、法人での行事に参加して慰問の踊りやイベント食を味わっておられます。3月のひな祭りには長寿雛として十二単に身を包み緊張されながらも笑顔で写真撮影に望まれました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は敷地内に同法人の特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど介護福祉関連の事業所があり、災害時の相互協力関係も構築されている。代表者は地域に対する貢献度が高く、地域に根ざした福祉に取り組んでいる。

- ・町内会に加入し、地域行事に積極的に参加する一方、夏祭りなどの法人の行事にも多くの地域の人々の参加があり、ともどもの交流の場となっている。

- ・夜間の緊急時には法人施設の看護師の対応や協力医療機関との連携によるバックアップ態勢が整っている。

- ・代表者や管理者は職員育成に力を入れて、保育施設などを備えて働きやすい環境を整えている。職員は介護の実務経験も長く、家族からも信頼されている。職員のOB会が充実しており、ボランティアとしての支援もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り毎日朝礼時に理念を唱和している。理念は「さりげない見守り」「家庭的な雰囲気づくり」「その人らしさを大切にケアします」としている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念である。事業所内やパンフレットに掲示して、毎日、朝礼時に唱和し、意識づけしている。会議等でも確認し、理念に沿ったケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人全体で開催される夏祭りには家族や多くの地域の方々の参加があり、交流を図っている。又、踊り等のボランティアや高校生の職場体験等も積極的に受け入れている。	運動会などの地域行事に参加したり、夏祭りなどの法人全体の行事には多数の地域住民の参加がある。小学生との交流や中学生の職場体験・高校生や看護学生の体験学習・ボランティアの受け入れ・住民からの認知症に関する相談を受ける等、積極的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症等に関していつでも相談に応えられる認知症サポート相談窓口として地域に紹介されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には、利用者・家族代表・民生委員・地域代表・地域包括支援センター・法人評議員等が出席し行事の実施報告・研修報告・ヒヤリハット報告を行い、話題は限定せずに意見交換してサービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。ホームの状況や外部評価の報告などをして意見交換を行っている。カラオケセットの購入や感染症情報を参考に消毒等を徹底する等、情報や意見を職員で共有してサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは、日頃から制度や各種の手続きに関する相談を訪問や電話で行い、状況に応じた助言や・指導を受け連携を取っており、協力関係が築かれている。</p>	<p>市の担当者とは、日頃から電話や窓口に出向き、報告や連絡、相談を行い情報を交換して助言を貰っている。市主催の研修会に参加したり、介護相談員も受け入れるなど協力関係を築いている。生活保護の担当者とも報告や相談等で協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修を市の包括支援センターに講師を依頼し毎年度実施し積極的に参加して理解を深めるとともに、日々の支援の中で身体や言葉による拘束のないように努めている。</p>	<p>事業所内での研修を毎年実施し事例や課題に基づいて勉強会を行っている。外部研修にも積極的に参加している。言葉による拘束にも特に注意し合っている。昼間は玄関の施錠をせずに外に出て行く利用者には法人内の連携・協力を得て対応し、安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修に「人権について」を取り入れ外部から講師を招いて行っている。日頃から身体や言葉での虐待については職員相互で注意を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、並びに人権に関する施設内研修を毎年度行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項説明書の該当箇所を示しながら口頭で説明し、家族の不安解消に努めている。また、退去時も十分な説明を行い、納得してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や来訪時の対話の際に、遠慮のない意見や要望等を頂き運営に反映している。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き思いを把握している。市相談員の見解も参考にしている。家族からは面会時や家族会・運営推進会議などの機会をとらえている。定期的に便りや状況報告も送付している。出された意見で利用者と家族一緒にレストランで食事会をするなど、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は、法人事業所全体の職員会議や運営会議を通して意見や要望を聞いて業務改善や利用者のサービス向上に反映できるように取り組んでいる。</p>	<p>代表者は負担軽減及び利用者のサービス向上に繋がる意見を、積極的に取り上げるようにしている。管理者は職員の意見や提案を聞く機会を設け、相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。提案により、焼き芋機を購入するなどサービス向上に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>昇級、賞与等定期的に行っている。各人のスキルアップのために便宜を図っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勤務のローテーションを図りながら全職員が研修を受ける機会を得られるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出水・川薩支部認知症グループホーム連絡協議会に加入し、研修に参加し、お互いの研鑽を重ねている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の訴えに対して、出来る限り傾聴している。時に個別で対話を行う事により安心感を高めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時には、これまでの生活状態、心身状態を聞き取り、問題になっている事や要望を明確にした上で、ホームでどのように過ごしていきたいのかを伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が今現在困っている事は何なのかを聞いて対応している。現在、満床のため即入居できないので、他サービス利用や他機関への紹介等を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全員一律ではないが、掃除など職員と一緒にいき、自分の役割として取り組んでいる入居者もいる。日常生活の中で入居者、職員が互いに支え合ったり学びあったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加、通院への同行、状態の変化など事あるごとに連絡、相談を行いご協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望に沿って行事への参加や馴染みの人や場との関係継続に家族と連携して支援している。遠方に居住している家族とは電話や手紙の取り次ぎ等により関係性の継続に努めている。	地域行事に参加したり、馴染みの店での買い物に出かけている。知人友人の訪問を奨励し、面会時は居室でゆっくりしてもらい、これまでの関係を継続出来るように努めている。手紙や電話の取次ぎなども行っている。遠方の家族には「便り」を送付して近況を伝えている。外出や外食・理美容院利用・墓参などの際にも、家族の協力を得たりして支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	暮らしの中心となるリビングでは、一緒に洗濯物を畳んだり運動、カラオケ、テレビ等を通じて交流を深める場を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	重度化に伴いグループホームから医療機関、併設特養に入所された人がいる。職員と本人、家族のなじみの関係は今も続いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃から思いや意向をくみ取るように努めている。申し送りやケース記録で情報の共有を図り、家族とも相談しながら利用者にとってよりよい支援となるよう努めている。	自分の思いを話される利用者には日常の会話や動作・表情等から思いを把握している。意思疎通が困難な場合は家族の情報等を参考に本人の思いを把握するように務め、利用者の視点に立って職員間で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にキーパーソンとなる家族から生活歴を伺うこと以外に、ホームで暮らしている中で知り得た本人の暮らしの一端を記録に残し、職員全員で共有し活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人の生活のリズムを理解し、行動や言葉、表情からその人の全体の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を聞き取りケア会議で検討して利用者本位の介護計画書を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施している。	本人や家族の意向を踏まえ、主治医や関係者の意見を取り入れ、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間の個別記録に記入し職員間で情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況を見ながら、家族の要望に応じられるように、各事業所との連絡を行う。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練に消防署の立合いを求め指導を仰いだり共同の訓練を行っている。また、家族の面会や外出の機会をつくり楽しみのある日々になるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。通院は職員が同伴し、また協力医療機関の定期的な往診があり、緊急時の医療連携も構築されている。	本人や家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。通院は家族の協力のもとでおこなっている。月2回協力医療機関からの往診がある。緊急時の24時間医療連携体制も整備されている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医の看護師などよく相談し、健康管理に努めている。また、併設施設の看護師の協力ももらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院に際しては、疾患の状態が長期の入院加療を要するもの以外は病院関係者と密に連携して早期退院に向けた話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、利用開始時に説明して同意を得ている。状態変化時の対応も主治医の指示の下に行う事を家族にも説明を行っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医の指示のもとに家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変、事故のマニュアルを備えて発生時に備えている。定期的に急変時、事故発生時、火災発生を想定した訓練を行っている。また、法人での研修会に参加し実技指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立合いで、火災・地震を想定した法人全体の避難訓練を実施している。災害時は、隣接の特養からの協力体制が確立されている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定での避難訓練のほか、自主で年1回実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置し、定期点検も実施している。法人が主体となって「地域防災協力隊」を組織化するなど法人事業所や地域住民との協力体制もできている。災害用の水や米・食料品等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう日頃から言葉遣いや対応に心掛けている。	個々人の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。定期的に研修会を実施し、さん付けでの呼びかけ及び赤ちゃん言葉を使わない等の言葉使いに特に注意している。トイレはカーテンで囲ってプライバシーを確保している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	物事が複雑である場合は必ず選択して頂く様に配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われる事が多い中で、利用者との共同作業を通じて共に歩むケアに取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合った衣服の調整に努めている。散髪は本人もしくは家族の要望によって行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の嗜好、食事形態、服薬中の薬の影響等を把握して、特養の栄養士が作成した献立表で調理している。食材の下ごしらえや下膳等は利用者も一緒に行っている。</p>	<p>特養の栄養士の献立で利用者の嗜好に配慮した物や食事形態を工夫している。菜園の野菜も利用している。個々人の能力に合わせて、準備や片づけを職員と一緒にしたりしている。特養ホールでの正月やひな祭り、敬老会の食事会及び年数回の外食等に出かけている。誕生会やイベント食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事の摂取量のチェック水分摂取の把握を行っている。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後働きかけを行い口腔ケアを行っている。出来る方は見守り、出来ない方は洗面所まで誘導し促しや介助を行っている。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握し羞恥心にも配慮しながら可能な限りトイレで排泄出来る様に支援している。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握して、羞恥心に配慮しながらトイレでの排泄を支援している。夜間のポータブルトイレ利用者もいる。また水分調節、食生活、運動などを工夫して自然排便と排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜やイモ類等食物繊維を取り入れ水分補給に努めている。施設内の歩行や散歩など運動への働きかけを行っている。排泄チェックは毎日行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に入浴日を決めているが利用者の体調や希望にあわせて対応している。	入浴は基本的に週3回午前の入浴であるが、希望に添った入浴ができるように対応している。入浴をためらう利用者にも声かけや時間調整など、職員間で連携し、個々に応じた入浴の支援をしている。利用者の保清の必要に応じて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	利用者の体調に合わせて、自 室での休息や臥床を促してい る。また、気持ち良く休まれる ように天気の良い日は寝具を干 し清潔を保っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている	職員全員が十分に理解し服用 の間違い、誤薬のないように 努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている	カラオケ、散歩、ゲーム等そ の方に応じた個別支援に努め ている。また、特養の行事にも 参加し楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	行事計画書を立て桜見物、パ ラ見物、鶴見物等戸外に出かけ ている。また、家族と協力しな がら外で一緒に食事をする機 会をつくり外出支援に努めて いる。	日常的には敷地内や海岸沿いを 散歩している。隣接している デイサービスセンターの利用 者とも交流している。年間計 画を立てて、初詣や季節ごと の花見など、戸外に出かけら れるよう支援している。歩行 が困難な利用者にはリフト車 で対応している。家族の協力 を得ながら外食や墓参なども 支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金の所持については本人、家族と相談の上、本人管理となっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙のやり取りは自由に行っている。また本人が出来ない場合は職員が手伝っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間の食堂と談話室の壁には利用者が作成した季節感のある作品を飾っている。利用者が居心地良く過ごせるように座席の配慮をしている。</p>	<p>共用空間は天井が高くゆったりとした広さで開放感がある。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には行事の写真や季節感を大事にした飾りつけがされている。食堂とリビングが別々になっており、園庭や景色が眺められる。ゆったりとしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がしてある。廊下には足元灯があり、安全にも配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共通空間の談話室では、テレビを観たり、カラオケで唄ったり、また各々会話を楽しんでいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には洗面台、ベッド、エアコン、タンス、椅子が備えてある。本人や家族の希望により家族写真、ラジオ、携帯電話を持ち込み居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>居室はベッドや洗面台・エアコン・タンス・椅子・掛け時計が備え付けである。寝具や置き時計・ラジオ・写真など家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、利用者・家族の好みに花や写真を飾ったりして、居心地良く過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下・トイレ・浴室に手すりを設置している。廊下には足元ライトをつけ安心してトイレに行けるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない